

おいでよ！マオイでなつやすみ

概要企画書

北海道被災者受け入れ支援ネットワーク（代表 野間克実さん）が実施する「あたりまえの夏休みーほっかいどう事業」の呼びかけを受け、夏休みの期間、長沼町において、東日本大震災と原発事故の被災地から子ども達の受け入れを行いたいと思います。

1. 主旨、目的

東日本大震災で被害に遭われた方および、福島原発の事故による放射能汚染から、一時的であっても子ども達を救い出したい、放射能の心配のない野外で思い切り子ども達を遊ばせてあげたいという、お母さん、お父さん達の気持ちを受けて実施するものです。

2. 対象とする人（参加予定人数 子ども15名 引率者2名）

- ・東日本大震災で被害にあわれた家族（被災証明、罹災証明をお持ちの方）の子ども達（往復の交通費は道が支給）

3. 受け入れ予定期間

- 8月4日 福島発（仙台よりフェリーで苫小牧へ）
- 8月5日～7日 オリエンテーション
- 8月7日～14日 農家民泊
- 8月14日 札幌ホテルユニオン泊
- 8月15～18日 滝野青少年山の家
- 8月18日 ながぬま温泉泊
- 8月19日 北海道発（苫小牧よりフェリーで仙台→福島へ8/20着）

4. 受け入れの主体

- ・おいでよ！マオイでなつやすみ実行委員会（参加呼びかけ・事務局）
- ・長沼町グリーンツーリズム参加農家の有志 … 受け入れ提供者（宿泊と朝・晩ごはん、場合によっては、お昼用のおにぎりなどの用意）
- ・民間ボランティア … 地域のコーディネーター（日中の遊びの企画・昼食・有志農家や役場及び受け入れネットとの連携）
- ・後援 長沼町

5. 具体的な活動内容

- ・空港またはフェリーの港からの送迎
- ・グリーンツーリズムによる農家民泊
- ・日中の遊び、イベント企画など
- ・地域との交流（町主催の企画や地域行事への参加）

おいでよ！マオイでなつやすみ実行委員会
代表 天野敦子

事務局 荒谷明子
メノビレッジ長沼（長沼町一区）
☎ 0123-89-2385 FAX89-2400
携帯 090-1523-2521
メール muginotane@me.com